

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS with 沖縄国際学院 高等専修学校

We practice SDGs (Sustainable Development Goals) with quality international education that continues to explore the truth.

真理を探究し続ける 質の高い国際教育で
〈持続可能な開発目標〉を实践

ESDで世界を変えるための17の具体的目標 ESD=Education for Sustainable Development



環境 人権 文化

※上図は「日本ユネスコ国内委員会教育小委員会からのメッセージ「持続可能な開発のための教育(ESD)のさらなる推進に向けて～学校等でESDを実践されている皆様へ～」から引用

ユネスコ憲章 (前文) 一部抜粋

「文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人類の尊厳に欠くことのできないものであり、かつすべての国民が相互の援助および相互の関心の精神をもって果たさなければならない神聖な義務である」「平和が失われなければならないためには、人類の知的および精神的連帯の上に築かれなければならない」沖縄国際学院 高等専修学校はユネスコ憲章に共鳴し、教育機関としてSDGs(持続可能な開発目標)を実現するためにESD(持続可能な開発のための教育)に積極的に取り組んでいます。

[学校法人 PST アカデミー] 名称の由来

PSTは Persons Seeking Truth(真理の探究者)を意味します。これから先の社会は 答えの見えにくい時代が続いていきます。真理を探究することで 自らの答えを見出す力を理想とします。

OIS Group

学校法人 PST アカデミー

お問い合わせ 沖縄国際学院 高等専修学校
〒901-0611 沖縄県南城市玉城富里143 番地

CONTACT OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL
143 Fusato, Tamagusuku, Nanjo-city, Okinawa 901-0611 JAPAN

098(948)7740

admission-center@ois-edu.com

OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL
沖縄で唯一 国際バカロレア (IB) 一貫教育

保育・幼稚部 小学部 中学部 高等部

公式ウェブサイト

- カリキュラム
- スクールライフ
- 最新情報 ほか



学校説明会

- 個別入学相談
- 資料のご請求
- 学校見学 ほか



Translated WEB-Page

English



OKINAWA INTERNATIONAL SCHOOL

学校法人 PST アカデミー



沖縄国際学院 高等専修学校

2021-2022



IB World School 国際バカロレア認定校



The first school in Okinawa to be authorized to offer all of the IB programmes from PYP to DP 沖縄初の『IB一貫校』が誕生!

教育において大切なこと。それは、子どもにたくさんの夢を持たせることです。やがて子どもが豊かに成長し、その夢が「志」に変わるとき、その志の中身は、子どもがどのような教育を受け、また何を学んできたかによって決まります。私たちは、「探究教育」と「問題解決教育」を基軸に、より良い国際社会を共に創っていく一員となり得る、逞しい志を持つ人材を育成しています。沖縄国際学院に集う生徒たちの眼は、未来を見つめ、キラリと輝いています。

What is important about education? Education allows children's dreams to have endless possibilities. When children grow up, and as their dreams become aspirations, the spirit of their aspirations will be determined by their education. With Inquiry-based learning and problem-solving education, we aim to provide our students with strong aspirations to create a global society. The eyes of the students at Okinawa International School shine brightly as students gaze into the future.

Director/Principal Masato Chinen
理事長/校長 知念 正人



『真理の探究者』となれ

Be a Seeker of Truth!

Philosophy

学校法人 PSTアカデミーの理念

全ての学習者が「真理の探究者」と成るべく、教育という視点で民族・国籍・言語・宗教・政治の違いを超えて、お互いを理解し、尊重し、交流を図りながら学習者自ら課題を見出し、考え、行動し、社会へより良い変革をもたらすことを志高く掲げるグローバルエリートを育てます。

Mission

学校法人 PSTアカデミーの使命

私達の教育は「人権と平和」、「自然環境との共生」、「多文化理解」の3つを基軸とした探究教育を力強く推進するために、「地域から国際社会を理解する力」、「コミュニケーション力」、「論理的思考」、「数理的分析力」、「ICT・AI スキル」、「批判的・創造的思考」、「高度な倫理観」を各教科間で連携する教育カリキュラムを提供します。

人・心・自然 そして健康と長寿の島 〈ブルーゾーン・沖縄〉をグローバル教育の舞台に

High Standard Global Education in Okinawa: The island and its people known for good health, longevity, beautiful nature and oceans (one of the Blue Zones in the world), and mindfulness.

世界中で活躍する「国際教養人」を育てるために なくてはならない環境——それが「沖縄」です

- | | |
|--------------------|--|
| 沖縄には人の心の豊かさがあります | Open-minded Okinawans |
| 平和を尊ぶ概念があります | Honoring universal peace |
| 自然とのゆたかな共生があります | Coexistence with nature |
| 歴史・文化の継承と誇りがあります | Pride in Okinawan history and heritage |
| 異文化・多様性への敬意があります | Respect for different cultures and diversity |
| グローバルな人材教育の歴史があります | A history of international relations |



What is Blue Zone? 「ブルーゾーン」とは?

健康で長寿な人々が数多く居住する地域の総称です。この概念はベルギーの人口学者/ミシェル・プーランとイタリアの医師/ジャンニ・ベスガ、長寿者が多いイタリア・サルデーニャ島のバルバギア地方の地図上に「青色マーカー」で印をつけたことに由来します。

- イタリア・サルデーニャ
- 日本・沖縄
- アメリカ・カリフォルニア州・ロマリンド
- コスタリカ・ニコヤ半島
- ギリシャ・イカリヤ島

of Truth!

Students come from all over the world in search of international standards of education

「国際基準の教育」を求めて 世界中から生徒が集う



速く・確実に伸ばす少人数指導

本校では少人数制のクラス編成を導入しています。質の高い学習と向き合うためのアドバンテージとして、生徒からも保護者からも高く評価されています。少人数だからこそ、生徒がお互いに気づき合い、理解し合い、励まし合いながら学ぶ姿勢が身につきます。この有利性を活かして教師も生徒一人ひとりの知識や能力の進化的確かなタイミングで存分に支援します。

マルチリンガリズムをめざして

マルチリンガリズムとは複数の言語でコミュニケーションできる能力です。生徒の言語能力を伸ばし高めることは、本校の教師全員の使命と責任です。母語・英語・日本語の多言語教育を通じて国際的な視野を広げ、さまざまな世界観を理解していきます。WIDAやTOEFLを導入して、外国語の運用能力を同一基準で測るCEFRも指標としながら高度な語学力を習得します。



International Baccalaureate Course IBコース 国際バカロレアコース

「英語が主体」の少人数授業

IBコースの特徴の一つが、「ほとんどの授業を英語で行うこと」です。とはいえ本コースは、英語を学ぶ場ではありません。英語で学んで、英語で考え、自分だけの意見を発言したり論文化できる知識や能力を身につけます。クラスは少人数制で、先生と生徒の比率は1:2や1:4。ほぼマンツーマン指導です。生徒は常に教師から綿密な指導を受けられ、日々の学習成果が急上昇していきます。この大きなメリットを活かせる独自のカリキュラムで授業を行います。

生徒がめざす卒業時の英語能力 到達目標

CEFR基準

C1 英検1級相当

C1/C2レベルとは知識量と実用面、双方の技能をバランスよく備え持つ「熟達した言語使用者」

入学初年度は国際バカロレア [MYP5] ミドル・イヤーズ・プログラムの5年目の学習

集中的な教科学習と学際的学習に取り組むMYPでは、知識の習得だけに留まらず、「学んだことと社会がどのように結びつくのか」という考えで、国際的な視野と能動的な学習者を育てます。2年次からのDP学習で良い結果を生み出すための準備として、必要な技能や知識を習得します。

IBコース Grade10 (MYP5) 時間割モデル

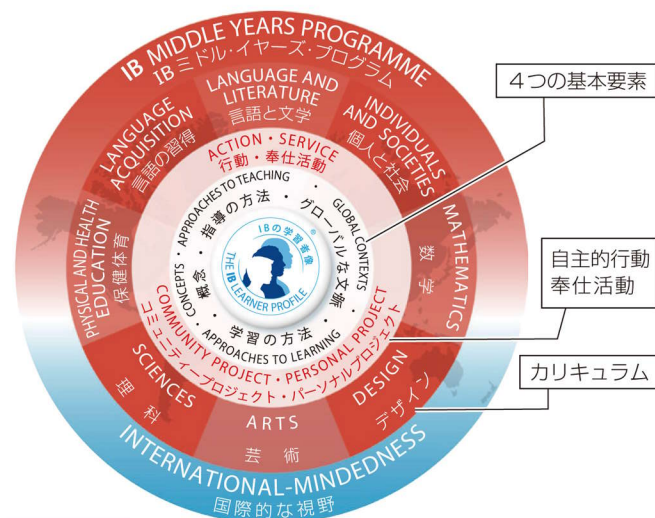
Time	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
HR 8:30~8:40	Homeroom ホームルーム				
1 8:45~9:35	Pre-TOK 知の理論	Mathematics 数学	Mathematics 数学	Mathematics 数学	Personal Project パーソナルプロジェクト
2 9:40~10:30	Language & Literature 言語と文学	Individuals & Societies 個人と社会	EAP 2 アカデミック英語	EAP 2 アカデミック英語	Language & Literature 言語と文学
3 10:40~11:30	PHE 保健体育	Language & Literature 言語と文学	Sciences 理科	Individuals & Societies 個人と社会	Mathematics 数学
4 11:35~12:25	Lunch Break 昼食				
5 13:05~13:55	Language acquisition 言語取得(英/日)	Language acquisition 言語取得(英/日)	Visual Arts 美術	Karate 空手	Individuals & Societies 個人と社会
6 14:00~14:50	Sciences 理科	Sciences 理科	Language acquisition 言語取得(英/日)	Language acquisition 言語取得(英/日)	Language acquisition 言語取得(英/日)
7 15:00~15:50	EAL 英語サポートクラス	EAL 英語サポートクラス	EAL 英語サポートクラス	Kanji 漢字サポートクラス	Independent Study 独立学習
HR 15:50~16:20	Homeroom ホームルーム				

Curriculum Pick Up Personal Project [パーソナル・プロジェクト]

国際バカロレア・ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)の5年生(高1生)による、集大成の探究プロジェクトです。生徒は自身の興味に基づく成果物を創作することを課されており、それは調査、計画、行動、および振り返りという一連の活動の中で創り上げられます。MYPで学んできた様々な事を独自の創造的手法でまとめ、発表するプロジェクトです。昨年の発表会では、簡単に焼けるオリジナルのグルテンフリー・レシピ・コレクションのオンラインサイトの作成や、自作の詩の小冊子作成の発表を行いました。



MYP model MYP ミドル・イヤーズ・プログラムのモデル



4つの基本要素

自主的行動
奉仕活動

カリキュラム

Curriculum Pick Up Pre-TOK [Pre-知の理論]

2年次(DP1)からスタートするハイレベルな探究学習「知の理論」。本校ならではのユニークな取り組みとして、1年次に[Pre-TOK]と題する授業を設けています。物事にはいろんな観点があり、人それぞれに違う答えがあること。知の本質とは、自他の考えを理解・共有し合いながら創り出していく知識であること。いわゆる答えのない学びに、初めは戸惑う生徒たちも徐々に慣れ、明らかかな変化を呼び起こす大切な授業です。



Curriculum Pick Up English for Academic Purposes [アカデミック英語]

EAPとは、英語でのアカデミック・ライティングに焦点を当てる「OIS独自のディプロマ・プログラムの準備コース」の一つです。9年生がEAP1、10年生がEAP2を受けます。アカデミックなライティング・プロセスや、エッセイの構成パターン、語彙と文法の学習などを学びます。

Curriculum Pick Up PHE [保健体育]

国際バカロレアの保健体育は、単に実技を評価するだけの授業ではありません。IBの評価規準表に沿って競技等の知識を学び、生徒自身が目標と計画を立て、実技してパフォーマンスの結果を振り返り、自ら分析と評価をレポートにまとめる、より高度で専門性の高い授業です。

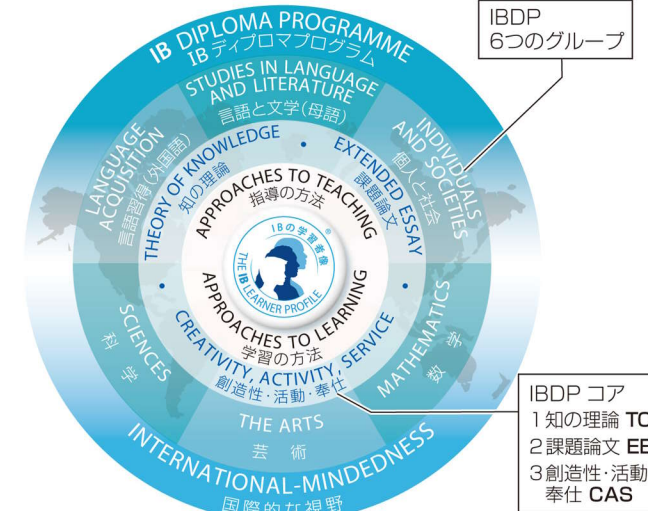
2年次・3年次は国際バカロレア [DP1][DP2] ディプロマ・プログラムで真理を探究

MYPで培ってきた多くの知識とスキルは、より深く、より幅広く真理を探究するDPに引き継がれます。DPでは、6つのグループ(教科)と、DP独特の3つのカリキュラムコア(核)をひたむきに探究学習します。DPの修了前には、国際バカロレア統一試験を受けます。統一試験は45点満点で、24点以上でDPの習得認定を受けることができます。40点以上を獲得すると、世界各国のトップレベルの大学への入学が実現します。

IBコース Grade11 (DP1) 時間割モデル

Time	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
HR 8:30~8:40	Homeroom ホームルーム				
1 8:45~9:35	English A 英語A	English A 英語A	English A (HL) 英語A	English A (HL) 英語A	Japanese B 日本語B
2 9:40~10:30	Chemistry 化学	TOK 知の理論	English A (HL) 英語A	English A (HL) 英語A	Japanese B 日本語B
3 10:40~11:30	PHE 保健体育	Chemistry 化学	History 歴史	Economics 経済(Online)	TOK 知の理論
4 11:35~12:25	Lunch Break 昼食				
5 13:05~13:55	Economics 経済(Online)	Mathematics 数学	Chemistry(HL) 化学	Mathematics 数学	Economics 経済(Online)
6 14:00~14:50	History 歴史	History 歴史	Chemistry 化学	Mathematics 数学	Chemistry 化学
7 15:00~15:50	Japanese B 日本語B	Japanese B 日本語B	Economics 経済(Online)	History 歴史	Mathematics 数学
8 15:50~16:20	Independent Study 独立学習	Independent Study 独立学習	Independent Study 独立学習	Independent Study 独立学習	Homeroom ホームルーム
HR 16:20~16:30	Homeroom ホームルーム				

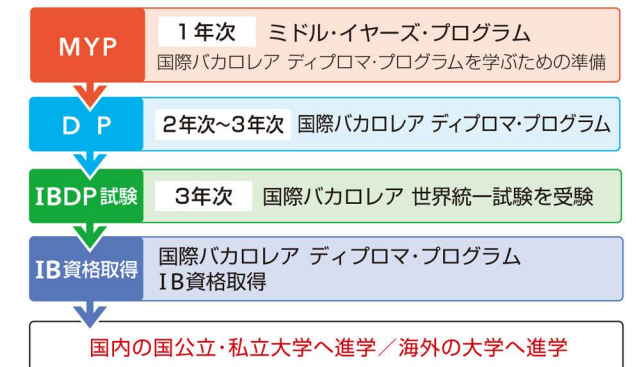
DP model DP ディプロマ・プログラムのモデル



IBDP
6つのグループ

IBDP コア
1 知の理論 TOK
2 課題論文 EE
3 創造性・活動・奉仕 CAS

未来を拓く IBコースでの学び

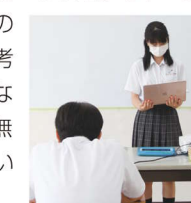


Curriculum Pick Up Mathematics [数学]

テストや点数だけを評価するのではない、IBの理念に基づく本校の「数学」は、考え、探究し、創造し、イノベートする、単なる知識の吐き出しに終わらない授業のあり方を大切にします。常に生徒が主役のコミュニケーションが基本の学びを通じて、生徒一人ひとりの柔軟な発想力や行動力を育みます。数学でありながら16ページの探究論文に挑むユニークな取り組みも実践。生徒に本物の教養をつかみ取らせませす。

Curriculum Pick Up Japanese B [日本語B]

言語を学ぶことは、その国の文化を学ぶことです。授業では、手紙の書き方や新聞の読み方など、身近な題材で一人ひとりの興味や好奇心を刺激します。たとえば「もったいない」をテーマに自作のテレビCMを考えてみよう! などアイデアは無限に広がっていきます。



Curriculum Pick Up CAS [創造性・活動・奉仕]

IBのコアの1つ「CAS」は、総合型選抜(旧AO入試)などでも非常に評価される重要な活動です。広い視点で社会全体のことを考えられる経験や能力が、世界で活躍するグローバルISTの可能性に通じるからです。IB一貫教育の本校では、同じくIBを学ぶ小学生、中学生が校内に数多くいます。この環境を活かし、DPでは課外活動として、生徒が後輩のIB生に英語をレッスンするなど、クリエイティブな奉仕活動でキャリアを積み重ねています。

Student's Voice

徳田 仁衣奈 Niina Tokuda IBコース (Grade10 MYP5)

私の夢はファッション・コーディネーター。公立校との比較はできないですが、OISには自分で調べて、考えて、独自のアイデアを元に答えを求め授業がたくさんあります。去年は、国語でショートストーリーを考える課題があって、「流れメロス」を題材にオリジナルの改作を創った経験が楽しかったです。



竹倉 きらら Kirara Takekura IBコース (Grade11 DP1)

私は小6の時に海外の学校からOISに転入しました。DPはMYPよりさらに批判的思考や柔軟な考えが要求されて、授業で議論をするのが楽しみです。大学進学に向けて、進路指導の先生方も手厚くサポートして下さっています。国際バカロレア資格は世界共通の大学入学資格なので、大学進学の視野がとても広いと感じています。私も海外の大学に進んでビジネスを学びたいので、経済の授業は特に意識して取り組んでいます。



International Liberal Arts Course ILAコース 国際リベラルアーツコース

知識と能力を拓く「少人数指導」

ILAコースには、一人ひとりが個性的な「夢」を持つ生徒が集まっています。IBコースと違って、初年度から英語の比率は高くありません。外国人教師のネイティブな英語に触れながら、徐々に語学力を高めていきます。授業は「少人数」で行います。探究学習も語学もアクティビティも、常に教師と生徒が近い距離で接しながら、個々の未来を創造し、「大学進学その先」を拓いていく知識や能力を飛躍的に高めます。

生徒がめざす卒業時の英語能力 到達目標

CEFR基準
B2 英検準1級相当

B1/B2レベルとは英語を使って、複雑で具体的なことを自然にやり取りできる「自立した言語使用者」

文系・理系の枠を超えた「グローバル」へ

私たちが暮らす社会は、身近な地域問題から国際関係、自然環境、政治経済まで、様々な問題を抱えています。これらと向き合い、解決していくため、社会はいま、理系・文系両面からのグローバルな知識と教養を合わせ持つ人材を求めています。

正しい判断と行動ができる「真理の探究者」をめざす奥深い学び

ILAでは「一つの答えや正解」を求めるより先に「多様性の理解」を大切にします。相手の考えを知り、尊重しながら自分の意見を伝え、相互の理解にたどりつける能力を伸ばします。SNSなどで情報が氾濫する社会でも「他者の発言を鵜呑みにしない」正しい判断と行動をとれる人を育てます。そのために「真理(Truth)」を探究し、「国際教養人」への学びを実践します。

教師がチームで「授業をデザイン」

ILAは人文科学・社会科学・自然科学・数学の4領域を横断的に学ぶカリキュラムです。それぞれの教師は各自が作成した授業計画を互いに理解・共有し、生徒一人ひとりがより奥深く探究学習を構築していけるように、チーム体制で「授業をデザイン」しています。

アカデミック・イングリッシュで世界に通用する語学力を

生徒一人ひとりが[WIDA]で英語4技能のレベルチェックを続け、達成度を確認しながら英語力のレベルアップに励みます。そして、大学進学や海外の留学資格を得るために[TOEFL Junior Standard]または[TOEFL iBT]を年に1回受験。世界へ羽ばたけるアカデミック・イングリッシュを身につけます。



Student's Voice

末吉 栞奈 Kanna Sueyoshi ILAコース〈Grade10 ILA1〉



ILA1の私のクラスは5人で学んでいます。先生との距離が近く、先輩・後輩の壁もなく仲良く勉強できる環境です。人数が少ないため、毎回の授業で必ず私にも発言の場面があって、自然と自主性がアップします。授業は先生がパワーポイントを大画面に映して、直接書き込んでいくスタイル。集中して授業を聞いたあとでシェアしてくれるので、授業後もしっかり復習できます。

高 材昇 Jaesueng Ko ILAコース〈Grade10 ILA1〉



僕は韓国の釜山広域市出身で、OISに入る前は日本の公立中学校にいました。OISに入ってから、パソコンを使ったプログラミングやドキュメントの作り方、編集のやり方など、公立では学べないデザイン技術とたくさん出会い、習得していくことができました。今の時代は第四次産業革命で、よりいっそうITが重要になってきます。もっとがんばって、もっと多くの次世代のスキルを身につけていくのが僕の目標です。



教科書や受験勉強が中心ではない生徒の探究心と努力を評価する教え

教養を深めるために、教科書を横断するカリキュラムや探究学習は不可欠です。探究学習において最も重要なことは、生徒が自ら「疑問」を持ち、それを解決するための「努力」を続け、探究を重ねて「答え(真理)」を導き出すプロセスです。テストや受験などでみられる、いわゆる「すでにある答えを求める」学習ではありません。

ILAコース Grade10 (ILA1) 時間割モデル

Time	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
HR 8:30~8:40	Homeroom ホームルーム				
1 8:45~9:35	Integrated History 歴史総合	Intercultural Inquiry 多文化探究	Arts 芸術	Integrated Sciences 理科総合	Independent Study 独立学習
2 9:40~10:30	Integrated Japanese 国語総合	Integrated Mathematics 数学総合			Integrated Japanese 国語総合
3 10:40~11:30	Kinesiology 身体運動学	Integrated Japanese 国語総合	Practical English コミュニケーション英語	Practical English コミュニケーション英語	
4 11:35~12:25	Integrated History 歴史総合	Integrated Sciences 理科総合	Communication 英語会話		Practical English コミュニケーション英語
12:25~13:05	Lunch Break 昼食				
5 13:05~13:55	Integrated Mathematics 数学総合	Mental Health Management1 心理学1	Toefl Jr. Prep. TOEFL 準備コース	Karate 空手	Toefl Jr. Prep. TOEFL 準備コース
6 14:00~14:50	Practical English コミュニケーション英語	Independent Study 独立学習	ICT 情報コミュニケーション技術	Integrated Mathematics 数学総合	Integrated Mathematics 数学総合
7 15:00~15:50	EAL 英語サポートクラス	EAL 英語サポートクラス	EAL 英語サポートクラス	Kanji 漢字サポートクラス	Service As Action 奉仕活動
HR 15:50~16:20	Homeroom ホームルーム				

ILAコースでは、初年度の授業は40%程度を日本語を使って行います。学年次ごとに英語の比率を増やししながら、3年間で優れた英語能力を身につけます。

Student's Voice

前里 渉真 Shoma Maezato ILAコース〈Grade10 ILA1〉



僕は沖縄県内の公立中学校を卒業して、OISに進学・入学しました。初めは、今まで経験したことのないカリキュラムや授業の進み方に戸惑いましたが、少人数指導が自分に合っているのが、苦手だった数学が楽しくなってきました。わかりやすい、というが、これまでとは教わり方そのものが違うので、家に帰ってからパーッと思い出せるんです。毎日たくさんの新しいことと出会っています！

OIS mid-term study abroad program OIS 中期留学プログラム

- 「違い」を体感する
- 「できないこと」を知る
- 「目標」をとらえる

国ごとに異なる言葉や生活習慣を知り・学び・理解します。日常的な会話や礼儀、感情表現。留学先でぶつかる思わぬ壁から、成長のきっかけが生まれます。なぜ異国の地で学ぶのか？を考え、自分の糧とするのが海外留学の本質です。その先にある自分の将来について考えるきっかけとなります。

モンレーベイ・アカデミー 留学プログラム Monterey Bay Academy (MBA)

所在地: アメリカ合衆国・カリフォルニア州
期間: 8月中旬~12月下旬
滞在先: MBAキャンパス内・男女別寮
学校種: 男女共学・ボーディングスクール



留学生サポート機関と提携。現地滞在中は日本語でのサポートが受けられます

ナパ・クリスチャン 留学プログラム Napa Christian campus of education

所在地: アメリカ合衆国・カリフォルニア州
期間: 8月中旬~12月下旬
滞在先: ホームステイ
学校種: 男女共学



現在、世界9ヶ国から12名の留学生を受け入れています(ハイスクール生を含む)

※各コースによって留学の学年が異なります。最新情報はウェブサイトでご案内します

Curriculum Pick Up

Intercultural Inquiry [多文化探究]

沖縄にいる事で見えてくる他国についての魅力・重要性を、文化・歴史・政治や言語的な部分から比較し、探究学習を重ねます。課題発表で語学力の上達も促します。沖縄の歴史を学ぶテーマでは、平和施設や琉球王国の城跡を訪ねる校外学習も取り入れ、学び感じたことを発表し合います。刺激的な授業を生徒はイキイキと楽しみます。



Curriculum Pick Up

Integrated Japanese [国語総合]

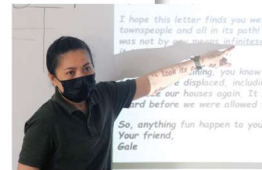
「国語総合」では、教科書を中心に登場人物の心情や筆者の考えを読み解くのではなく、「筆者の人生論」から意見を考慮しつつ「生徒自身の人生プラン」を作成するなど、生徒自身のオリジナルの解答が求められます。そのため読解のみの国語ではなく、時には音楽や芸術も融合させ、生徒は「答えなき問い」に、文学的観点をを用いながら、積極的に探究することで授業を構築していきます。



Curriculum Pick Up

Practical English [コミュニケーション英語]

国際教育を行う専修学校として、初めは英語が苦手なILAの生徒も、着実に語学力を高めて国内外の大学へ進学を目指しています。英会話やヒアリング、記述など、ネイティブ教師から受ける「生きた英語」のレッスンが成果を発揮します。



中・高で取り組む「地域奉仕活動」

地域奉仕活動の一環として、高等部と中学部によるビーチクリーンアップ活動に取り組んでいます。地域と共生し、社会性を考える力は、やがて迎える「総合型選抜(旧AO入試)」でも高く評価されます。



Exceptional teachers from all over the world gather 世界各国から精鋭教師陣が集結

高い専門知識と指導スキル、素晴らしい人間性を持つ教師陣。国際教育の担い手として、多文化や多様性への理解を基軸に、生徒一人ひとりの語学力と大いなる探究心を伸ばし高めます。

学びの「その奥」を共有

テストや成績のためだけでなく、生徒が学ぶことに目的を持ち、自分で課題を見つけ、探究し、真理を求めていく姿勢。奥深い学びの旅へとご案内します。

知識と実践の融和

身につける国際教養や専門的な能力・スキルを、自分がめざす進路へどのようにして活かすべきか？生徒一人ひとりへの「知識と実践の融和」を大切に指導します。



Faculty Profile 教員の紹介 (①出身国 ②出身大学 ③担当教科)

しょうご先生
Shogo Okuma
奥間 政吾
①日本
②カリフォルニア州立大学
ドミンゲスヒルズ
③教頭・DPコーディネーター

みほ先生
Miho Endo
遠藤 美穂
①日本
②北テキサス州立大学
③日本語習得

ポーヤン先生
Bojan Brink
ブリック・ポーヤン
①ドイツ
②フィリップ大学マールブルク
③知の理論・英語習得

アチャ先生
Anja Sueyoshi
末吉 アチャ
①ドイツ
②ルートヴィヒ・マクシミリアン大学
ミュンヘン
③個人と社会・歴史
(琉球歴史を含む)

ゆうご先生
Yugo Nakamura
中村 裕吾
①日本
②オックスフォード大学
③数学

ナンシー先生
Nancy Paras
パラス・ナンシー
①フィリピン
②デラ・サール大学
③科学・化学

ジョン先生
John Tang
タン・ジョン
①アメリカ
②サンフランシスコ州立大学
③英文学・英語習得

ジェイジェイ先生
John Julius Fajardo
ファハルド・ジョン・ジュリアス
①フィリピン
②フィリピン大学
③科学

ジョヴィ先生
Jovenia de Vera Garcia
ガルシア・ジョベニア・デ・ヴェラ
①フィリピン
②聖トマス大学
③科学

やえ先生
Yae Motome
求 八重
①日本
②沖縄国際大学
③日本文学

モニック先生
Monina Liza Mendez
メンデズ・モナリザ
①フィリピン
②フィリピン教育大学
③英語習得

ローズ先生
Rose Anne Camacho
カマチョ・ローズアン
①フィリピン
②フィリピン教育大学
③数学

ルーカス先生
Lucas Christopoulos
クリストプロース・ルーカス
①スイス
②ローザンヌ大学
③身体運動学・中国語

アレックス先生
Alexandra Jimenez
ヒメネス・アレクサンドラ
①コロンビア
②ロス・アンデス大学
③美術

かのご先生
Kanoko Izena
伊是名 佳乃子
①日本
②琉球大学
③日本文学

あや先生
Aya Fujita
藤田 綾
①日本
②鶴見大学
③図書館司書

はるな先生
Haruna Nakamura
中村 春菜
①日本
②山形大学
③養護教諭

The gateway to universities across the world 「世界中」に広がる大学への進路

国内大学へ進学する場合

国内大学への進学をめざす場合、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、国際バカロレア選抜の4つの方法があります。本校の教育は、国際教育や探究教育で個々の生徒が知識を深めながら自己肯定感を育む特徴あるカリキュラムとなっています。従って本校では、IBコースの生徒にはIB選抜を、ILAコースの生徒には総合型選抜(旧AO入試)を推奨しています。総合型選抜は多くのIB生が選択している大学進学方法でもあります。

【総合型選抜】

条件を満たせば誰でも出願できる選抜方式です。大学が求める人物像(アドミッション・ポリシー)に合う人物を入学させるために、国公立大の一部、私立大のほとんどが導入しています。国公立大では成績基準や学力試験を設ける大学が多い一方、私立大では一般的に書類審査や小論文、面接などだけで受験できますが、基礎学力は重視される傾向にあり、その選考方法も各大学によってさまざまです。

【IB入試】

IB入試とは「IBDP生専用」のIBDPを取得した全ての学生に受験資格が与えられる入試制度です。毎年、IB入試を導入する国公立・私立大が増えてきました。各大学、各学部によって条件が異なりますので、早めの情報収集と目標設定が大切です。2021年現在、東京大・京都大・早慶を含む63大学が導入しています。(文科省IB教育推進コンソーシアム)

海外大学へ進学する場合

日本からの海外大学への進学者は増加傾向にあります。英語圏である米国・英国・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドが中心ですが、現在は台湾、韓国、中国のアジア諸国への進学も増えてきています。また、ヨーロッパには英語で単位が取得でき、さらに授業料の安い大学も数多く、これから注目されます。

【IB入試】

国際バカロレアは、国際的に通用する大学入学資格として世界の多くの国々の大学で幅広く受け入れられています。海外の大学入学選抜では、1800以上の大学で国際バカロレアを活用した入学審査システムが採用されています。ハーバード大学やオックスフォード大学、ケンブリッジ大学などの難関大学も、独自の基準でIBDPを入学資格として認めています。IBDPはあくまで入学を希望する際の資格の1つで、ほかに、その国や大学で定めている試験のスコア等も必要とはなりますが、国際バカロレア資格で進学できる大学は世界各国で増加中です。

【ILAコースからの海外大学進学】

ILAコースで学んだ生徒も海外の大学にも出願することができます。国や大学によって入学条件が異なるため、できるだけ早く目標の大学を選び、求められる学力や語学力を身につけながら入試に向けて準備する必要があります。

【英語能力試験証明書】

英語能力試験証明書は、総合型選抜に不可欠な証明書の一つです。国内大学への進学には英検・TOEFLが、海外の大学進学にはTOEFLやIELTSが必要のため、本校では上記テスト対策準備のクラスも設けています。

Going to university IBディプロマの認定資格を入試に有利に活かせる国内・海外の大学

Japanese Universities

国内の大学へ

(2020年12月現在)

国公立大学

全24校

東京大・京都大・筑波大・東京外国語大・東京芸術大・お茶の水女子大・金沢大・名古屋大・東北大・大阪大・岡山大学・国際教養大・横浜市立大・大阪市立大 ほか10校

私立大学

全39校

早稲田大・慶應義塾大・工学院大・国際基督教大・順天堂大・上智大・玉川大・東洋大・法政大・立教大・関西学院大・立命館大・近畿大・京都外大・青山学院大 ほか24校

Overseas Universities

海外の大学へ

(2020年12月現在)

世界に2500校以上

ハーバード大・ボストン大・ペンシルバニア州立大・コロンビア大・カリフォルニア大ロサンゼルス校(UCLA)・スタンフォード大・カリフォルニア大バークレー校・オックスフォード大・ケンブリッジ大・キングスカレッジロンドン・エジンバラ大・シドニー大・メルボルン大・トロント大・クイーンズランド大・プリティッシュコロンビア大 ほか世界に多数

受験可能な 医・歯・薬・獣医学部

医学部 東京医科歯科大・北海道大・筑波大・岡山大学・名古屋大・愛知医科大・広島大・鹿児島大
歯学部 東京医科歯科大・北海道大・鹿児島大・岡山大学・広島大
薬学部 北海道大・岡山大学・広島大
獣医学部 北海道大・鹿児島大

「一人ひとりの進学」をしっかりサポート

本校に入学後、進学指導部は直ちに各教科担当と緊密に連携して、大学進学を成功させるために生徒の学力と語学力の向上に尽力します。生徒のニーズと能力に焦点を当てながら生徒のキャリアプランを継続的にサポートし、個々の夢の実現に向けて全力で支援します。



Student's Voice

池村 信 Shin Ikemura IBコース〈Grade10 MYP5〉

この学校では、ただ単に知識として「覚える」のではなく、自分の将来へ役立つ思考方法を学ぶことができます。まだハッキリとは決めていませんが、プログラミングに興味があるので、大学は海外のコンピューター・サイエンス系に行きたいです。IBを学んだ兄からも、IBの資格は大学進学に有利だと聞いています。



海外や県外から 広く生徒を迎える 環境も充実

Accommodation 意欲ある生徒が安心して快適に「学び・暮らす」ための生活環境

Boarding House 寄宿舎

寄宿舎は、さまざまな国籍や経歴の生徒が「共同生活」を行う場所です。一人ひとりが相互理解していく意義と大切さを日々の生活から学び、体得することができます。寮監はもちろん、職員や教師も定期的に訪問、滞在して、生徒の学習面のサポートを行います。最初の寄宿舎は、2022年の入居開始をめざして準備を進めています。

Homestay ホームステイ

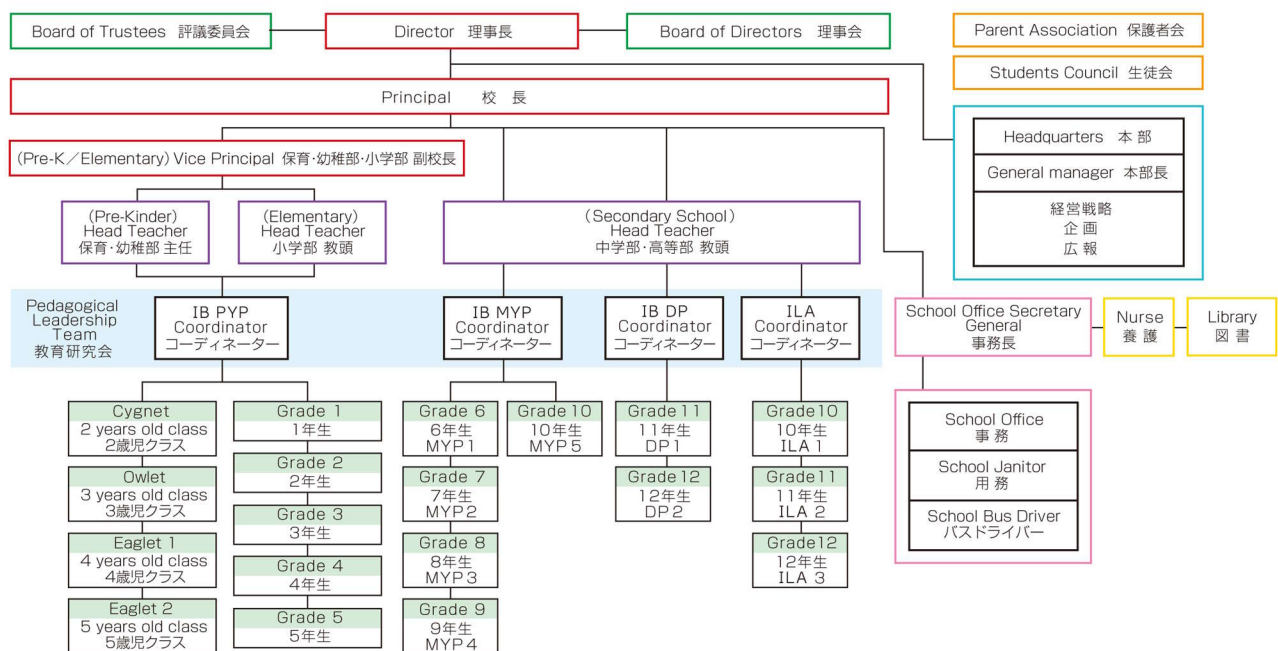
本校で学ぶすべての生徒に、安全でかつ快適で健全な生活環境を提供するために、面接や家庭訪問を経て、「ホストファミリー」を募集・認定しています。ホームステイを利用する生徒にとって、ホストファミリーは「第二の家族」とると共に、親元から離れて過ごすことで自立心や協調心、忍耐力など、生涯に役立つ人間性を学べる教育の場でもあります。



※この絵図は設計段階で描き起こした想像図で実際の仕上がりとは異なる場合があります



Organization Chart 組織体制



Advanced facilities and a beautiful natural environment 先進の教育設備と 自然美の学芸環境

沖縄国際学院 高等専修学校は、東シナ海を見わたす、自然美ゆたかな玉城の高台にあります。国際教育のための安全性や機能性を備える化学室・図書室などの先進設備を整え、南城市の体育館などアクティビティのための施設も充実しています。



Library 図書室

探究学習に役立つさまざまな書籍や資料があります。WIFI環境でPCやタブレット端末から素早く情報収集できる、メディア室としての機能も持ちます。



Chemistry Lab. 化学室

化学実験中の安全を守る国際基準に合わせた設備・機材を導入。講義のためのモニターやボードも設置し、高度な理論と実践の場を提供します。



Art 美術室

生徒の奔放な創造意欲にこたえる、芸術とデザイン活動のアトリエ空間です。イラストレーションや、沖縄独自の伝統工芸も実践的に学びます。



Multipurpose Hall 多目的ホール

広々とした空間での音楽や空手の授業、校内の公式行事、生徒によるプロジェクト発表会など、さまざまな目的に応じて活用されるメインホールです。



Exercise Facilities 運動施設

運動設備が充実した南城市の体育館を、保健体育の授業に活用します。緑につつまれた本格的な陸上競技場では、スポーツイベントを催します。

School Bus スクールバス

安全な通学体制も整えています。
各エリアからの運行ルート

- 沖縄市・中部ルート
- 宜野湾・浦添ルート
- 那覇北・首里ルート
- 那覇南・小禄ルート
- 豊見城・糸満ルート



至便なアクセス・安心の医療環境・美しい南国の自然も身近に



那覇国際空港のある県都・那覇市から本校までは車で約30分。移動に便利な好立地です。



本校から車で約20分。子ども医療センターや救命救急センターも併設された総合病院です。



沖縄本島南部には、歴史的な文化遺産と美しい景観の観光名所が数多く点在しています。



百名ビーチ、新原ビーチなどの美しい海が身近に。ビーチ清掃など教学の場にも活かします。